

**2004.8
経済産業省**

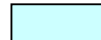
参考文献 : A Guide to the Project Management Body of Knowledge - 2000 Edition, Project Management Institute, Inc.


目次

1. 研修コース群(体系図) -----	2頁
2. 研修コース一覧 -----	4頁
3. 研修コースの内容 -----	6頁

エデュケーション(研修企画)の研修コース群(体系図)

	未経験 レベル	エントリレベル		ミドルレベル		ハイレベル			
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7	
テクノロジー				最新研修技術動向		コミュニティ 活動			
				最新技術動向					
メソドロジ			インストラクションの基礎	要件定義					
			研修コース開発技法の基礎	カリキュラム設計					
				実施と評価					
プロジェクト マネジメント				プロジェクト マネジメント 基礎					
ビジネス/ インダストリ			研修業界の基礎知識		最新ビジネス動向				
				財務・会計の基礎				市場分析手法の 基礎	
パーソナル				エデュケーションのリーダーシップ					
				エデュケーションのコミュニケーション					
				エデュケーションのネゴシエーション					

 : 職種共通

 : 専門分野別選択

エデュケーション(インストラクション)の研修コース群(体系図)

	未経験 レベル	エントリレベル		ミドルレベル		ハイレベル				
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7		
テクノロジー				最新研修技術動向		コミュニティ 活動				
				最新技術動向						
メソドロジー			インストラクションの基礎							
			研修コース開発技法の基礎							
				教材開発	実施と評価					
プロジェクト マネジメント					プロジェクト マネジメント 基礎					
ビジネス/ インダストリ			研修業界の基礎知識							
					最新ビジネス動向					
				財務・会計の基礎	市場分析手法の 基礎					
パーソナル			教授法							
				エデュケーションのリーダーシップ						
				エデュケーションのコミュニケーション						
				エデュケーションのネゴシエーション						

: 職種共通

: 専門分野別選択

エデュケーション(研修企画)の研修コース一覧

コース群の種類	コース群	コース名	研修方法			期間		頁	
			eラーニング	講義	ワークショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
職種共通	基礎講座	インストラクションの基礎					2	8	
		研修コース開発技法の基礎					2	11	
		プロジェクトマネジメント基礎				30		14	
		研修業界の基礎知識				3	0.5	19	
		財務・会計の基礎				3		22	
	上級講座	エデュケーションのリーダーシップ					3	25	
		エデュケーションのコミュニケーション					3	28	
		エデュケーションのネゴシエーション					3	31	
		実施と評価					1	34	
		市場分析手法の基礎					2	37	
	特別講座	最新研修技術動向				3	1	40	
		最新技術動向					1	43	
		最新ビジネス動向				3	0.5	48	
		コミュニティ活動						51	
	専門分野別選択	上級講座	要件定義					1	64
			カリキュラム設計					1	67

エデュケーション(インストラクション)の研修コース一覧

コース群の種類	コース群	コース名	研修方法			期間		頁	
			eラーニング	講義	ワークショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
職種共通	基礎講座	インストラクションの基礎	インストラクションの基礎				2	8	
		研修コース開発技法の基礎	研修コース開発技法の基礎				2	11	
		プロジェクトマネジメント基礎	プロジェクトマネジメント基礎				30	14	
		研修業界の基礎知識	研修業界の基礎知識				3	0.5	19
		財務・会計の基礎	財務・会計の基礎				3		22
	上級講座	エデュケーションのリーダーシップ	エデュケーションのリーダーシップ					3	25
		エデュケーションのコミュニケーション	エデュケーションのコミュニケーション					3	28
		エデュケーションのネゴシエーション	エデュケーションのネゴシエーション					3	31
		実施と評価	研修の実施と評価					1	34
		市場分析手法の基礎	市場分析手法の基礎					2	37
	特別講座	最新研修技術動向	最新研修技術動向				3	1	40
		最新技術動向	最新技術動向					1	43
			専門知識アップデート						
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向				3	0.5	48
		コミュニティ活動	コミュニティ活動						51
専門分野別選択	基礎講座	教材開発	研修教材開発技法 - 講義テキスト開発 -				2	54	
		研修教材開発技法 - eラーニングコンテンツ開発 -					2	56	
	教授法	コーチング技法					1	59	
		ファシリテーション技法					1	61	

エデュケーション
研修コースの内容
< 職種共通 >

インストラクションの基礎 (1コース)

- インストラクションの基礎

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	インストラクションの基礎
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、インストラクションに関する基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、インストラクションとそれに関連する基本的なプロセスを理解し、プロセスで有効となるインストラクション技法とインストラクション実施後のコース評価方法などの基礎を学習する。</p> <p>当コースでは、インストラクションの主要な技術であるコーチング、ファシリテーション、プレゼンテーションの技法をワークショップを通して体得する。 (開催の各回で、受講者は10名程度を想定)</p>
受講対象者	研修企画担当、あるいはインストラクタを目指す者(エデュケーションのレベル3,4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識および基本的パーソナルスキルを有すること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	「インストラクションの基礎」から得た知識を活用し、エデュケーションのメンバとして、上位者の指導の下、コースの開発、研修コース運営、管理、コーチを実施できる。

対象スキル項目	関連する知識
分析、設計、管理	<ul style="list-style-type: none"> - 講座 コースの企画 ロードマップ作成、コースの企画 - 講座 コースの開発 ソリューション設計、ソリューション開発
教授法	<ul style="list-style-type: none"> - インストラクション手法 目標の設定、教育技法、メディア選定、カリキュラムの作成、プレゼンテーション技術の活用と実践 - 評価手法 目標の設定マイルストーンの明確化、問題と課題の明確化、実行、フィードバック、効果測定 - ファシリテーション知識 目標の設定、受講者の動機付けと達成感の提供、傾聴、意見調整、実行力の発揮、研修コース運営方法の活用と実践、効果測定
コース開発	<ul style="list-style-type: none"> - 講座 コースの開発 コンテンツ開発、インストラクショナルデザイン - eラーニング開発 コンテンツ開発プロセスの把握、コンテンツの技術表現、eラーニングプラットフォーム構築、ラーニングマネジメントシステムの活用、オーサリングツールの活用、部品化の活用、eラーニングの標準化

研修コース開発技法の基礎（1コース）

- 研修コース開発技法の基礎

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	研修コース開発技法の基礎
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修コース開発に関する基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、研修コース開発とそれに関連する基本的プロセスを理解し、そのプロセスで用いられる管理技法、開発技法の基礎を学習する。</p> <p>当コースでは、特に、インストラクショナルデザインの概念とその有用性を学び、インストラクショナルデザインのプロセスで用いられる技法をワークショップを通して体得する。</p>
受講対象者	研修企画担当、あるいはインストラクタを目指す者(エデュケーションのレベル3,4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識および基本的パーソナルスキルを有すること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	「研修コース開発技法の基礎」から得た知識を活用し、エデュケーションのメンバとして、上位者の指導の下、コースの開発、研修コース運営、管理、コーチを実施できる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none"> - 市場調査概念と方法論 市場の定義、市場全体の把握、市場分析、市場調査目的の設定、市場調査計画の作成、市場調査の設計、市場調査の実施、仮説検証 - 市場分析 マクロ環境分析、顧客分析、競合分析、内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)、市場機会の分析、市場の需要測定 - 研修のための最新機器とツール 最新研修機器の把握と活用、最新研修ツールの把握と活用
分析、設計、管理	<ul style="list-style-type: none"> - 受講者ニーズ、市場ニーズ 受講者要望、ニーズ&ウォンツの把握 - 講座、コースの企画 ロードマップ作成、コースの企画 - 講座、コースの設計、開発 講座、コース体系の作成、ソリューション設計 - 講座の管理、コースの管理 実績管理、受講者の満足度、知的資産管理
コース開発	<ul style="list-style-type: none"> - 講座、コースの開発 コンテンツ開発、インストラクショナルデザイン

プロジェクトマネジメントの基礎（1コース）

- プロジェクトマネジメントの基礎

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	プロジェクトマネジメント基礎
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、プロジェクトマネジメントに関する基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、「PMBOK」に準じて、プロジェクトの定義、組織化、計画策定、スケジュール策定、プロジェクト実施と管理、プロジェクト完了などのプロジェクトマネジメントの全知識領域の基礎的な内容について、業種や分野別の特性にとらわれない汎用的なプロジェクトマネジメントの概念を学習する。</p>
受講対象者	研修企画担当者あるいはインストラクタの経験を持ち、大規模な研修コースの開発やインストラクションを目指している者(エデュケーションのレベル5を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」を修了していること
研修方法	eラーニング
期間	標準時間 30時間 (1日6時間×5日)
研修修了後のスキル修得目標	プロジェクトマネジメントに関する基礎的な知識を活用し、エデュケーションの責任者として大規模かつ複雑な研修講座全体を、責任をもって開発、運営、管理することができる。

対象スキル項目	関連する知識
統合マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト計画の策定 プロジェクト計画メソッドの活用と実践、プロジェクトマネジメントツールの活用、プロジェクト計画書の策定 - プロジェクト計画の実施 一般的な管理スキルの活用と実践、プロジェクトマネジメントツールの活用、承認プロセスの把握、進捗管理会議運営、組織の手続きの把握 - 統合変更管理 変更管理、構成管理、プロジェクト進捗評価基準の活用と実践、プロジェクト計画書更新版の策定
スコープマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト開始 プロジェクト憲章の策定、プロジェクトマネージャの選定と任命、制約条件と前提条件の把握 - スコープ計画 スコープ記述書の策定、スコープマネジメント計画書の策定 - スコープ定義 WBSの作成、スコープ記述書更新版の策定 - スコープ検証 - スコープ変更管理 スコープ変更、ベースライン文書の改訂
タイムマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - 作業定義 作業の細分化と詳細化、作業項目リストの作成、WBS更新版の作成 - 作業順序設定 PDM(Precedence diagramming method)、ADM(Arrow diagramming method)、Conditional diagramming method、プロジェクトネットワーク図の作成、作業項目リストの作成 - 作業所要時間見積 所要時間見積、作業項目リストの作成 - スケジュール開発と管理 数学的分析(Critical Path Method、PERT等)、所要時間の短縮、シミュレーションの実施、プロジェクトマネジメントツールの活用、プロジェクトスケジュールの作成、スケジュールマネジメント計画書の作成、スケジュール変更管理

対象スキル項目	関連する知識
コストマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - 資源計画 資源計画の検討と策定、代替案の定義 - コスト積算 トップダウンコスト見積の実施、ボトムアップコスト見積の実施、見積ツールの活用と実践、コスト見積方法論の活用と実践 - 予算設定 予算設定ツールと技術の活用と実践、コストベースラインの作成 - コストコントロール コスト変更管理の実施、進捗状況評価基準の把握と実践、EVM(Earned value management)の活用と実践、コストコントロールツールの活用と実践
品質マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - 品質計画 ベネフィットコスト分析、ベンチマーキングの実施、フローチャートの活用と実践、品質に関するコスト管理 - 品質保証 品質計画、品質予測、品質監査、ツールと技術の活用と実践 - 品質コントロール 監査、コントロールチャートの活用と実践、パレート図の活用と実践、統計サンプリングの実施、フローチャートの活用と実践、傾向分析
組織マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト組織計画 人材業務の実践、組織論の実践 - 要員調達 要員計画の策定、採用業務の実施、ネゴシエーション、調達 - チーム体制化 チーム構成作業の実施、一般的な管理業務の実施、適材配置の実践、チーム育成

対象スキル項目	関連する知識
コミュニケーションマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - コミュニケーション計画 コミュニケーション要件の把握、コミュニケーション技術の活用と実践 - 情報配布 コミュニケーションスキルの活用と実践、情報配布方法論の活用と実践 - 実績報告 進捗検証、予実分析、傾向分析、Earned Value 分析 - プロジェクト完了手続 プロジェクト実績報告、プロジェクト報告書の作成、プロジェクトプレゼンテーションの実施
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - リスクマネジメント計画策定 - リスク識別 資料分析、情報収集技術(ブレインストーミング、インタビュー、SWOT 分析)の活用と実践、仮説分析、ダイアログ技術の活用と実践 - 定性的リスク分析 リスク発生頻度と損害の大きさによる分析、リスク発生頻度と損害の大きさの評価マトリックスによる分析 - 定量的リスク分析 情報収集技術(インタビュー)の活用と実践、重大性分析、デンジョンツリ分析、シミュレーションの実施 - リスク対応計画 許容、回避、移転、軽減、受容 - リスク監視とリスクコントロール プロジェクトリスク対応監査、定期的なプロジェクトリスク検証、Earned Value分析
調達マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> - 調達計画 内製外製の分析、契約形態の選択、調達計画書の作成 - 引合計画と引合 調達文書の作成、評価基準の設定、プロポーザルの受理 - 発注先選定 - 契約管理 契約業務の理解、契約条件の確認と合意、契約の締結、例外事項の処理、外注と OEM 契約業務の理解、関連法規の理解と遵守

研修業界の基礎知識（1コース）

- 研修業界の基礎知識

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	研修業界の基礎知識
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修業界の実態と最新の業界動向の知識を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、研修業界の構成、規模、コース提供の実態と動向などに関する基礎的知識に加え、研修についての最新ニュースやトピックス、先進的な研修コース内容、研修技術、標準化、研修へのニーズ、更には最新の研修事例研究などを学習する。</p> <p>当コースは、毎年一回程度を目安にeラーニング形式で学習する。 (最新ニュースやトピックスをeラーニング形式では伝えることが難しい場合は講義形式とするよ)</p>
受講対象者	研修企画担当者あるいはインストラクタを目指す者(エデュケーションのレベル3,4を目指す者)
受講前提	ITに関する基本的知識を有すること
研修方法	eラーニング、または講義
期間	標準時間 3時間 (0.5日)、または 標準日数 0.5日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	研修業界の基礎知識を活用し、エデュケーションのメンバとして、上位者の指導の下、研修講座やコースを企画、開発、実施を運営し、管理することができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	- 研修業界知識 業界動向の把握と活用、市場分析結果の把握と活用 - 研修関連IT知識 業界標準の把握と活用、技術動向の把握と活用

財務・会計の基礎 (1コース)

- 財務・会計の基礎

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	財務・会計の基礎
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、企業の財務に関する知識を身につけ、経営的視点から研修開設にかかるコストの低減や利益確保のための基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、財務諸表の構成を理解し、損益計算書、貸借対照表を読み取るスキルを学習し、資金の流れ、原価計算などの財務の基本を学び、コスト低減、利益確保の仕組みを学習する。</p> <p>当コースでは、コスト低減の実効を促す研修コストの配賦を学習する。</p>
受講対象者	研修の企画担当を目指す者、あるいはインストラクション業務に携わっている者(エデュケーションのレベル4を目指す者)
受講前提	「研修業界の基礎知識」コースを受講しているか、それに相当する知識を有すること
研修方法	eラーニング
期間	標準時間 3時間 (0.5日)
研修修了後のスキル修得目標	財務と会計の知識を活用して、研修企画担当者として、講座、コースを開設する際の損益を計算することができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	- 財務分析 財務諸表に関する知識の活用、経営指標の分析と把握、財務分析手法の理解と活用、財務状況の分析と把握

エデュケーションのリーダシップ

(1コース)

- エデュケーションのリーダシップ

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	エデュケーションのリーダーシップ
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、あらゆる研修の成功要因である目標の設定、チーム形成、チーム内、チーム外とのコミュニケーション、研修の実施項目の作成、推進、管理、動機づけなど、業務を遂行するための実践的なリーダーシップスキルの修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、研修企画、あるいはインストラクションを実施していく上で必要なリーダーシップ、自身の動機づけ、チーム、あるいはメンバに対する動機付け、対人折衝、確執の対応と合意などをロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	研修企画担当者またはインストラクタとしての実績を有する者(エデュケーションのレベル4,5を目指す者)
受講前提	リーダーシップに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ワークショップから得たリーダーシップ発揮の体験を活用し、エデュケーションのリーダーとして、コース企画、開発あるいは研修実施に際し、リーダーシップを発揮することによって、研修を成功裡に実施できる。

対象スキル項目	関連する知識
リーダーシップ	- リーダシップ リーダーシップの基本や原則の把握と実践、チームワークとコミュニケーションの実践、業務目標の設定、業務の推進、業務の実行、業務の管理、チームメンバの連携、チームメンバの動機付けと達成感の提供

エデュケーションのコミュニケーション

(1コース)

- エデュケーションのコミュニケーション

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	エデュケーションのコミュニケーション
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、あらゆる研修の成功要因である研修担当者、受講者との効果的なコミュニケーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、研修企画あるいはインストラクションを実施していく上で必要な2way コミュニケーション、情報伝達、情報処理について、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	研修企画担当者またはインストラクタとしての実績を有する者(エデュケーションのレベル4,5を目指す者)
受講前提	コミュニケーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	ワークショップから得たコミュニケーションの体験を活用し、エデュケーションのリーダとして、関係する担当者や受講者と効果的なコミュニケーションを図り、研修を成功裡に開発、実施できる。

対象スキル項目	関連する知識
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">- コミュニケーション(2Way) 対話またはインタビューの実施、意思疎通、コミュニケーション手法の活用と実践、効果的な話し方、聞き方の実践- コミュニケーション(情報伝達) プレゼンテーション技術の活用と実践、公式または非公式文書の作成、文書表現および表現力の活用と実践、メディア選択、説得技法の活用と実践- コミュニケーション(情報処理) 状況対応能力の育成と実践、状況理解力の活用と実践、ミーティング運営技術の活用と実践

エデュケーションのネゴシエーション

(1コース)

- エデュケーションのネゴシエーション

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	エデュケーションのネゴシエーション
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修のあらゆる状況、場面におけるネゴシエーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、研修企画、あるいはインストラクションを実施していく上で発生するあらゆる状況や場面での利害関係者とのネゴシエーションに関して、ネゴシエーションのプロセスを幾つかのフェーズに分け、想定される問題点を理解し、交渉相手との解決策を作成するプロセスをロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	研修企画担当者またはインストラクタとしての実績を有する者(エデュケーションのレベル4, 5を目指す者)
受講前提	ネゴシエーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ワークショップから得たネゴシエーションの体験を活用し、エデュケーションのリーダーとして、関連する担当者や受講者などの交渉相手との対立や葛藤を効果的に処理し、信頼関係を維持することにより研修を成功裡に遂行できる。

対象スキル項目	関連する知識
ネゴシエーション	- ネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践、効果的な交渉技法の活用と実践、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益、論理的思考の実践、問題解決手法の活用と実践

実施と評価（1コース）

- 研修の実施と評価

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	研修の実施と評価
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修実施後の効果度合いを評価し、コース改善を行う方法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、研修実施の方法や講師の心構えなど実施の考慮点を明確にしなが、受講者による評価、スキル修得度、学習内容の業務での活用度などの評価方法を学習する。</p> <p>当コースでは、評価結果を分析し、コースの改善方法を学習する。</p> <p>当コースでは、受講者、ならびに顧客担当者へ受講結果をフィードバックする方法を学習する。</p>
受講対象者	研修コースを開発、インストラクションした実績をもち、より効果的なコースの開発とインストラクションを目指す研修企画担当者、あるいはインストラクタ(エデュケーションのレベル5を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎」、 「研修コース開発技法の基礎」 を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	研修コースの実績評価方法を活用し、エデュケーション担当者として、コースの開発と実施を行ない、その評価を的確に把握、分析して、コースの改善を行うことができる。

対象スキル項目	関連する知識
分析、設計、管理	- 講座の管理、コースの管理 実績管理、受講者の満足度、知的資産管理
教授法	- 評価手法 目標の設定、マイルストーンの明確化、問題と課題の明確化、実行、フィードバック、効果測定 - ファシリテーション 目標の設定、受講者の動機付けと達成感の提供、傾聴、意見調整、実行力の発揮、研修コース運営方法の活用と実践、効果測定

市場分析手法の基礎 (1コース)

- 市場分析手法の基礎

コース名	市場分析手法の基礎
研修コースの内容	
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修コースを開発するに際し、市場ニーズを調査、分析する技法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、コース開設を成功させるためには欠かせない市場ニーズの調査、調査データの分析に関わる一般的技法を学習する。</p> <p>当コースでは、市場ニーズを論理的に調査し、分析する方法をワークショップで体得する。</p>
受講対象者	研修コースを開発し、インストラクションした実績をもつ企画担当者、あるいはインストラクタ(エデュケーションのレベル5を目指す者)
受講前提	「研修業界の基礎」、「財務会計の基礎」を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	市場分析手法を活用し、エデュケーションの担当者として、市場のニーズをコースへ反映するためにニーズ分析を的確に行うことができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none"> - 市場調査概念と方法論 市場の定義、市場全体の把握、市場分析、市場調査目的の設定、市場調査計画の作成、市場調査の設計、市場調査の実施、仮説検証 - 市場分析 マクロ環境分析、顧客分析、競合分析、内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)、市場機会の分析、市場の需要測定 - 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析、その他 - 研修業界知識 業界動向の把握と活用、市場分析結果の把握と活用
分析、設計、管理	<ul style="list-style-type: none"> - 受講者ニーズ、市場ニーズ 受講者要望、ニーズ&ウォンツの把握 - 講座、コースの企画 ロードマップ作成、コースの企画 - 講座、コースの設計 講座、コース体系の作成、ソリューション設計

最新研修技術動向（1コース）

- 最新研修技術動向

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	最新研修技術動向
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、質の高い研修を維持、提供するために、研修企画、インストラクションに関連する最新技術の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、研修で採用されている研修技術の更新と、新たに活用できそうな研修技術を学習する。</p> <p>研修方法は、eラーニングを基本とするが、高度な技術についてはワークショップを通して活用方法を体得する。</p>
受講対象者	研修企画担当者またはインストラクタを目指している者、あるいは研修技術を研修に活用していく必要のある者
受講前提	「研修業界の基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、またはワークショップ
期間	標準時間 3時間 (0.5日)、または 標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	最新の研修技術の知識を活用し、エデュケーションの担当者として、研修の最新技術を応用することにより、質の高いコースの開発、運営、管理、実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none">- 研修関連IT知識 業界標準の把握と活用、技術動向の把握と活用- 研修のための最新機器とツール 最新研修機器の把握と活用、最新研修ツールの把握と活用

最新技術動向 (2コース)

()内は対応する専門分野

- 最新技術動向
- 専門知識アップデート(インストラクション)

コース名	最新技術動向：最新技術動向
研修コースの内容	
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、最新の技術動向を把握し、実際の研修コースで提供するための知識あるいはその関連知識を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、国内外のIT市場規模や動向、現状と将来のIT技術、プラットフォーム、システム管理基盤、データベース、ネットワーク、分散コンピューティングシステム、セキュリティなどに関わる技術動向、アプリケーションに関わる技術動向、ビジネス特許に関わる技術動向、次世代のeビジネスとその発展などを学習する。</p> <p>当コースでは、必要に応じた任意のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持と向上を図るために定期的、あるいは必要に応じてテーマを選択して、受講する。</p>
受講対象者	研修企画担当者、インストラクタとして技術に関する知識を更新する必要がある者
受講前提	研修コース「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」、「研修業界の基礎知識」を修了していること、または同等の知識を有すること
研修方法	講義
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	最新のITに関わる技術の知識を活用し、エデュケーションの担当者として、研修内容に最新技術を取り入れることにより、最新技術内容のコースを開発、運営、管理、実施をすることができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="667 264 1964 421">- 最新技術動向 最新ハードウェア技術動向の把握、最新ミドルウェア技術動向の把握、最新プラットフォーム技術動向の把握、最新ネットワーク技術動向の把握、最新データベース技術動向の把握、最新セキュリティ技術動向の把握、最新システム管理技術動向の把握<li data-bbox="667 437 1964 549">- 最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	最新技術動向：専門知識アップデート
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、インストラクタの専門分野における研修知識を最新の状態に更新することを目的とする。</p> <p>当コースでは、インストラクタの専門分野における最新技術知識を学習する。</p> <p>当コースの受講期間は、専門分野の技術内容と更新規模によるため、特定されない。</p>
受講対象者	インストラクタとして業務を遂行していて、専門知識の更新を必要とするもの
受講前提	専門分野の研修コースをインストラクションした経験があること
研修方法	講義、ワークショップ、またはeラーニング
期間	専門知識内容による
研修修了後のスキル修得目標	最新のITに関わる技術の知識を活用し、インストラクタとして、専門分野でのコースを最新の内容で提供することができる。

対象スキル項目	関連する知識
担当教育分野における専門性	- 担当教育分野における専門性 専門知識の修得と活用

最新ビジネス動向（1コース）

- 最新ビジネス動向

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	最新ビジネス動向
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、ビジネスの最新動向に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>当コースでは、主要な業界の経営課題や最新動向、トピックス、国内外のIT市場の動向、主要な技術動向等のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持、向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p>
受講対象者	研修企画担当者あるいはインストラクタとして、研修に関わる顧客のニーズ等を把握するために最新のビジネス知識の更新を必要とする者
受講前提	研修コース「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」、「研修業界の基礎知識」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、またはeラーニング
期間	標準日数 0.5日(クラスルーム)、または 標準時間 3時間(0.5日)
研修修了後のスキル修得目標	最新のITに関わるビジネス知識を活用し、エデュケーションの担当者として、顧客のニーズを的確に捉え、ニーズを研修コース開発へ反映することができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none">- 最新IT市場動向 国内外のIT市場規模と動向の把握、アプリケーションに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握- 市場分析 マクロ環境分析、顧客分析、競合分析、内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)、市場機会の分析、市場の需要測定
分析、設計、管理	<ul style="list-style-type: none">- 受講者ニーズ、市場ニーズ 受講者要望、ニーズ&ウォンツの把握

コミュニティ活動（1コース）

- コミュニティ活動

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	コミュニティ活動
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>コミュニティ活動は、いわゆる研修とは異なり、社内組織上のラインにとらわれずに、プロフェッショナル同士が自らのスキルを切磋琢磨し、後進育成にも貢献していく社内、社外での諸活動をいう。コミュニティ活動には、社外のものとしては学会や各種団体(任意も含めて)があり、社内のもんとしては社内プロフェッショナル認定制度などで認定を受けたなどの者からなる枠組みがある。これらコミュニティは、同一職種で構成されることが基本となる。</p> <p>ハイレベルのスキルを持つ人材は、研修という枠組みで教えられるという段階を超え、コミュニティ活動を通し、他のハイレベルのプロフェッショナルとの情報交換やディスカッションを通じて研鑽を重ねる。</p> <p>後進育成においても、ハイレベルのスキルに基づく論文発表や講演を通じた貢献を図る。また、特に社内のコミュニティ活動を通しては、人事、教育訓練制度の設計、構築、実行をリードし、現場のプロの立場でビジネス戦略と結びついた人材育成戦略の実現に貢献する。</p>
受講対象者	
受講前提	
研修方法	
期間	
研修修了後のスキル修得目標	

エデュケーション
研修コースの内容
< 専門分野別選択 >

教材開発 (2 コース)

()内は対応する専門分野

- 研修教材開発技法 - 講義テキスト開発 -
(インストラクション)
- 研修教材開発技法 - eラーニングコンテンツ開発 -
(インストラクション)

コース名	教材開発：研修教材開発技法 - 講義テキスト開発 -
研修コースの内容	
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、講義用研修教材開発の技法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、教材の構成、項目の標準、本文の表記方法、図解方法などの実践的なテキスト作成技法を学習する。</p> <p>当コースでは、チーム単位でのワークショップを通じて、テキストを作成し、テキストに基づくプレゼンテーションを体得する。 (開催の各回は1クラス15名程度とし、チームによるワークショップを想定)</p>
受講対象者	インストラクションの実務経験を有し、より理解しやすい教材の開発を目指すインストラクタ(エデュケーションのレベル4を目指す者)
受講前提	研修コース「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	講義テキストの作成技法を活用し、インストラクタとして、上位者の指導の下、クラスルームでの講義用教材を開発することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コース開発	- 講座 コースの開発 コンテンツ開発、インストラクショナルデザイン

コース名	教材開発：研修教材開発技法 - eラーニングコンテンツ開発 -
研修コースの内容	
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、eラーニングコンテンツ開発の技法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、eラーニングコンテンツ開発のプロセスを把握し、プロセスで必要とされる技法について、ツールを用いたワークショップを通して、実践的に学習する。</p> <p>当コースでは、ラーニングマネジメントシステムや標準などの関連知識をも学習する。 (開催の各回は1クラス15名程度とし、チームによるワークショップを想定)</p>
受講対象者	インストラクションの実務経験を有し、eラーニング教材の開発を目指すインストラクタあるいはコンテンツ開発者(エデュケーションのレベル4を目指す者)
受講前提	研修コース「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	eラーニングのコンテンツの作成技法を活用し、eラーニングのインストラクタとして、同一職種上位者の指導の下、eラーニングのコンテンツを開発することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コース開発	- eラーニング開発 コンテンツ開発プロセスの把握、コンテンツの技術表現、eラーニングプラットフォーム構築、ラーニングマネジメントシステムの活用、オーサリングツールの活用、部品化の活用、eラーニングの標準化

教授法（2コース）

（ ）内は対応する専門分野

- コーチング技法(インストラクション)
- ファシリテーション技法(インストラクション)

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	コーチング技法
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、コースの目標とする受講効果を最大に引き出すためのコーチングの技法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、受講者に対して目標達成のための問題、課題を明確にさせ、メンタル面を配慮しながら、自主的に行動を起こさせる技法を学習する。</p> <p>当コースでは、ワークショップを中心とした実践的な技法を体得する。</p>
受講対象者	研修効果を上げることを目指しているインストラクタ(エデュケーションのレベル3,4を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	コーチング技法を活用して、インストラクタとして、受講者の意欲を引き出し、積極的に研修へ参加させることにより、更なる研修効果を上げることができる。

対象スキル項目	関連する知識
教授法	- 評価手法 目標の設定、マイルストーンの明確化、問題と課題の明確化、実行、フィードバック、効果測定

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	<div style="text-align: center;">ファシリテーション技法</div>
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、受講者をコースへ積極的に参加させるための運営技法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、ファシリテーションの基本的知識を理解し、目標設定、動機付け、傾聴、意見調整などの実践的運営技法を学習する。</p> <p>当コースでは、ワークショップを中心とした実践的な技法を体得する。</p>
受講対象者	効果的なコース運営方法を身につけることを目指しているインストラクタ(エデュケーションのレベル3,4を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎知識」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ファシリテーション技法を活用して、インストラクタとして、受講者を積極的に研修へ参加させることにより研修効果を上げることができる。

対象スキル項目	関連する知識
教授法	- ファシリテーション 目標の設定、受講者の動機付けと達成感の提供、傾聴、意見調整、実行力の発揮、研修コース運営方法の活用と実践、効果測定

要件定義 (1コース)

()内は対応する専門分野

- 研修コース開発要件定義技法(研修企画)

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	研修コース開発要件定義技法
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、研修コースの開発に際し、コースの必要性の調査と分析の方法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、市場環境の変化、事業内容の変更、新技術の台頭、キャリアの変遷などを調査し、コース開発のニーズを洗い出し、分析する方法を学習する。</p> <p>当コースでは、開発が必要とされるコースについて、コースの提供に必要な情報、スキル、思考、行動基準などを定義する方法を学習する。</p> <p>当コースでは、受講対象者のスキルレベル、職種、職位などの層別を分析し、受講者の前提条件や受講資格などを明確にする方法を学習する。</p>
受講対象者	研修コースを開設した経験と実績をもち高度な知識、経験を必要とする講座を企画から開設までを担当することを旨とする者(エデュケーションのレベル5を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	研修コースの要件定義技法を活用し、研修企画担当者として、コースの要件を定義することができる。

対象スキル項目	関連する知識
研修業界動向の把握	<ul style="list-style-type: none"> - 市場調査概念と方法論 市場の定義、市場全体の把握、市場分析、市場調査目的の設定、市場調査計画の作成、市場調査の設計、市場調査の実施、仮説検証 - 市場分析 マクロ環境分析、顧客分析、競合分析、内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)、市場機会の分析、市場の需要測定 - 財務分析 財務諸表に関する知識の活用、経営指標の分析と把握、財務分析手法の理解と活用、財務状況の分析と把握 - 分析ツールとモデルの理解と活用 事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5 Forcesモデル、バリューチェーン分析、その他
分析、設計、管理	<ul style="list-style-type: none"> - 受講者ニーズ、市場ニーズ 受講者要望、ニーズ&ウォンツの把握 - 講座、コースの企画 ロードマップ作成、コースの企画 - 講座、コースの設計 講座、コース体系の作成、ソリューション設計

カリキュラム設計（1コース）

（ ）内は対応する専門分野

- カリキュラム設計技法(研修企画)

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	カリキュラム設計技法
講座分類	入門講座 基礎講座 上級講座 特別講座
対象専門分野	エデュケーション共通 研修企画 インストラクション
コース概要	<p>当コースは、コースのカリキュラム設計のプロセスと作成方法を修得することを目的とする。</p> <p>当コースでは、コースの学習目標、学習内容、対象とする受講者の特性、提供手段などの設定方法と研修スケジュール、費用見積り、効果予測などを行う技法を学習する。</p> <p>当コースでは、コースに対するニーズと受講者を数量的に分析し、採算を考慮したコース開発をワークショップで体験する。</p>
受講対象者	研修コースを開設した実績をもち、講座を担当する研修企画担当者(エデュケーションのレベル5を目指す者)
受講前提	「インストラクションの基礎」、「研修コース開発技法の基礎」を受講していること
研修方法	講義、ワークショップ
期間	標準日数 1日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	カリキュラムの設計技法を活用し、研修企画担当者として、コースのカリキュラムを設計することができる。

対象スキル項目	関連する知識
分析、設計、管理	- 講座 コースの企画 ロードマップ作成、コースの企画 - 講座 コースの設計 講座 コース体系の作成、ソリューション設計